

熱線による被害①

この瓦の表面の上薬が沸騰して熔融し、泡状となりました。このような状況は、広島では爆心地から600m以内、長崎では爆心地から800m以内で見られました。



被爆瓦（長崎）
内野正武氏寄贈
長崎原爆資料館提所蔵

上着の右側が、一瞬にして焼けてしまいました。



国防服（長崎）
爆心地から1,400m
官文勝氏寄贈
長崎原爆資料館所蔵